

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 末富 芳

研究課題		教育費の公私負担に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	これまで、義務教育段階、高校段階や困窮層の子どもに焦点をあてた研究を蓄積してきた。平成30年度は、教育の無償化の政策論の活発化に対し、就学前から高等教育まで資源配分の「優先度を明確にする」ための理論および実証研究を実施した。
	研究の結果	国内外の教育の無償化に関する理論および、申請者自身のかかわる自治体の子どもの貧困実態調査から、教育費の無償化が急がれる所得ゾーンの明確化と、現物給付すべき内容について検討を実施した。 あわせて、所得再分配構造自体の再設計を行い、子育て世帯全体への逆進的配分を改善するための財政投入の在り方についても検討を行った。この際、イギリス計量経済学の Dr.Pascal Stiefenhofer (Associate professor, University of Brighton) とのオンラインによる共同研究を実施している。
	研究の考察・反省	海外との比較分析、子育て世帯への逆進的配分についての計量分析は、引き続き分析する必要がある。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 末富芳・柊澤利也,2018,「教育の『剥奪(deprivation)』をどう捕捉・改善するかー日本における子どもの貧困調査データベースの比較を通じてー」日本教育社会学会第70回大会,2018年9月4日,佛教大学	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	末富芳,2018,「学校財務研究の進展と今後の課題」日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営 第3巻 教育経営学の研究動向』学文社,pp.72-82	